

日本伝熱学会関西支部
第 20 期定時総会・特別講演, 第 21 期第 1 回講演討論会
開催報告

日 時:平成 26 年 5 月 2 日(金) 13:00~20:00

会 場:大阪府立大学 中百舌鳥キャンパス 学術交流会館

13:00~13:30 関西支部第 20 期定時総会 (参加者数:48 名+委任状:20 通)

13:40~15:40 特別講演会 (参加者数:75 名)

「表面の熱ふく射の研究」

牧野 俊郎 氏(近畿職業能力開発大学校)

熱ふく射についてわかりやすく解説頂くとともに, 生活空間におけるふく射伝熱の事例として冬場の浴室での”ぷちぷち”による冷感の改善, 被災地仮設住宅での事例を紹介頂きました。また, 熱ふく射現象への分光学的アプローチについては, 広波長域高速スペクトル測定装置の開発と計測結果について詳細にわかりやすくご説明頂きました。

「製品開発における熱的問題と最近のアプローチ」

井上 健司 氏(川崎重工業)

近年, エネルギー機器開発で求められている課題(低コスト化, 開発期間短縮, NOx など有害物質の排出低減, 高性能化)を説明いただいた後, 川崎重工業での取り組みについてマトリックス運営による製品開発, フロントローディングによる開発業務の高効率化, 先進シミュレーション技術や 3D プリンタの応用など事例を交えてわかりやすく紹介して頂きました。

16:00~17:20 第 1 回講演討論会

「予混合圧縮自己着火燃焼の燃焼特性ならびに自己着火条件について」

吉田 憲司 氏(大阪大学)

次世代のディーゼル燃焼方式として注目されている予混合圧縮自己着火の素過程に及ぼす燃料濃度分布の影響について, 独自の非定常解析コードを用いた詳細な数値解析を紹介して頂きました。また, 自己着火のための着火条件の整理に関しても説明して頂きました。

「高効率蒸気供給システム SGH の開発とその実証事例」

飯塚 晃一郎 氏(神戸製鋼所)

120°Cを超える高温蒸気を供給することができる高効率蒸気供給システムの概要および開発のポイントについてわかりやすく紹介して頂きました。また, バイオエタノール製造工場への導入事例に関して, コスト及び CO₂ 排出量削減の観点から詳しくご紹介いただきました。

講演討論会終了後、講演者をお招きし、大阪府立大学 生協食堂にて活発な意見交換を行いました。(懇親会参加者数:38 名)



集合写真



牧野 俊郎 氏



井上 健司 氏



吉田 憲司 氏



飯塚 晃一郎 氏